マナビエ
MANABIE

記述の設計図　第5部 仕上げ

U13　採点者の目で見直す

ベーシック

対象：小学5年・偏差値55〜60

1. 要点（ルール）
2. 例題　物語文（理由型）「赤い手ぶくろ」
3. 練習1・練習2（採点して直す・解答らんつき）
4. 解答と採点表

要点　見直しのルール

R13-1　採点は「要素の足し算」

記述の点は、書いた量や文のうまさではなく、「入れるべき要素が入っているか」でつく（加点）。いちばん点が高いのは、聞かれたことのど真ん中（直接の理由・気持ち・言いかえの中心）。

R13-2　採点表を先に作る

書く前に、設問の型（U09言いかえ・U10理由・U11まとめ・U12気持ち）から要素を出して10点を配る。ど真ん中の要素5点、次の要素3点、形2点。要素表（U06）の「◎」が5点、「○」が3点になる。

R13-3　減点の型は5つ

①聞かれたことに答えていない（「なぜ」に「～気持ち。」）②条件をこえる・足りない（字数オーバーは0点のことが多い／8割に足りないのは要素がぬけている合図）③主語と述語がねじれる ④「それ」・たとえ・具体例のまま ⑤文末が問いと合わない。このほか、話し言葉（すごく・けど）や誤字は1点ずつ引かれることがある。

R13-4　見直し5項目チェック表

書き終えたら、必ず5つに○×をつける。①聞かれたことに答えた ②条件（字数・指定の言葉）③主語と述語 ④具体化（「それ」「～のよう」「たとえば」が残っていない）⑤文末。読み直すだけでは、まちがいは見つからない。

R13-5　×が出たら工程にもどる

①×→U05「問いを読む」へ ②×（短い）→U06 要素表にもどって要素をさがす／（長い）→U08 削る ③④×→U07「文にする」へ ⑤×→型の単元（U09～U12）の文末へ。見直しは「もどって直す」こと。

R13-6　自己採点は「要素」でくらべる

模範解答と一字ずつくらべない。要素ごとに線を引き、同じ意味なら点をつける。言葉がちがっても中身が同じならよい。言葉が同じでも中身がちがえば点にならない。

ルールの番号（R13-○）は、講座全体の通し番号です。動画・Webページ・このPDFで同じ番号を使っています。

例題　物語文(理由型)「赤い手ぶくろ」

① 冬休みの朝、ユイは、犬のマロンの散歩に出かけた。前の日の夜にふった雪が、道のはしに白く残っていた。マロンは雪が好きで、しっぽを大きくふりながら歩いていく。

② 公園の入り口で、マロンが急に立ち止まり、足もとのにおいをかぎはじめた。見ると、雪の上に、小さな赤い手ぶくろが片方だけ落ちていた。親指のところに、ひらがなで「さくら」と、ししゅうがしてある。

③ 「小さい子のだね。きっと、さがしてるよ。」

④ ユイはそう言って手ぶくろを拾い、雪をはらった。交番は遠いし、だれが落としたのかもわからない。道のはしに置いておいたら、また雪にうもれてしまうかもしれない。

⑤ ユイは少し考えてから、公園の入り口のさくの、いちばん目立つところに、手ぶくろをかぶせた。赤い色が、白い雪の中でよく見えた。マロンが、早く行こうというように、くいっとリードを引いた。

⑥ 次の日の朝、同じ道を通ると、さくの手ぶくろはなくなっていた。かわりに、さくには「ありがとう　さくら」と書かれた小さな紙が、テープではってあった。ユイはマロンの頭をなでて、「よかったね」と言った。

問　――線部「いちばん目立つところに、手ぶくろをかぶせた」とありますが、ユイがこのようにしたのはなぜですか。五十字以内で説明しなさい。

下書き(ある生徒の答え)　32字／50字以内

ユイは、それをさがしている子が、すぐに見つけられてほしい気持ち。

採点すると　**3点**／10点　目的に近い中身はある(5点中3点)が、きっかけが無く、主述のねじれ・「それ」・文末で形の2点も入らない。

解き方

1. **手順1　採点表を先に作る**
   「なぜですか」＝理由型(U10)。行動の目的が直接の理由。直接の理由(目的)5点・きっかけ3点・主述1点・文末1点(R13-2)。
2. **手順2　下書きを要素で採点する**
   直接の理由「すぐに見つけられて」はあるが、「それ」が何か伝わらないので5点中3点。きっかけ(雪にうもれる)は無いので0点。形は2点とも入らない。合計3点(R13-1)。
3. **手順3　見直し5項目で×をつける**
   ①「なぜ」に「気持ち。」で答えた ②32字で8割(40字)に足りない ③「ユイは、……気持ち。」がねじれ ④「それ」 ⑤文末。×が5つ(R13-4)。

4. **手順4　もどって直す**

②×→要素表にもどり、④段落のきっかけ(道のはしだと雪にうもれる)を足す。③④⑤×→主語を外し、「手ぶくろ」と書き、目的なので「～ため。」で終える(R13-5)。

5. **手順5　直した答えをもう一度採点**

直した答えに要素ごとの線を引き、採点表で10点になるかを確かめる。5項目もすべて○(R13-6)。

見直し5項目チェック表(下書き)

見直し項目	下書きのどこが	どう直す(もどる単元)	判定
①聞かれたことに答えた	「なぜ」に、気持ちで答えている	理由(目的)の形にする(U05)	×
②条件(字数)	32字＝8割の40字に足りない	要素表にもどり、きっかけを足す(U06)	×
③主語と述語	「ユイは、……気持ち。」がねじれ	主語を外して理由の文にする(U07)	×
④具体化	「それ」が何かわからない	「手ぶくろ」と書く(U07)	×
⑤文末	「～気持ち。」	目的なので「～ため。」(U10)	×

模範解答

直した答え(模範解答)　46字／50字以内

道のはしでは雪にうもれるので、落とした子がさがしに来たとき、すぐ見つけられるようにするため。

採点表

採点表(要素ごとの配点)	点
直接の理由(目的):落とした子がさがしに来たとき、すぐ見つけられるように	5点
きっかけ:道のはしに置くと雪にうもれてしまう	3点
主語と述語が合っている・「それ」を使わない	1点
文末が「～ため。」(「～から。」も可)	1点
合計	**10点**

減点の型(こう書くと)	何点になる？ なぜ？
下書き「ユイは、それをさがしている子が……気持ち。」	主述のねじれ・指示語・文末で、3点。
「赤い手ぶくろが白い雪の中で目立つから。」	見た目だけで、何のためかが無い。1点。
「交番が遠かったから。」	まわりの事情だけ。直接の理由(すぐ見つけられるように)も、きっかけ(雪にうもれる)も無い。0点。
五十一字以上	字数オーバー。採点されないことが多い(0点)。

練習1　説明文(言いかえ型)「ダンゴムシの曲がり方」

① ダンゴムシを、細い道をつくった迷路に入れてみると、おもしろいことがわかる。かべにぶつかって右に曲がったダンゴムシは、次のかべでは左に曲がる。その次は、また右だ。ダンゴムシは、右、左、右、左と、曲がる向きを交互に変えながら進んでいく。これを何回やっても、同じ結果になる。

② なぜ、こんな曲がり方をするのだろう。もし、いつも同じ向きにばかり曲がっていたら、どうなるか考えてみよう。右、右、右、右と曲がりつづけると、ぐるりと回って、もとの場所の近くにもどってきてしまう。曲がるたびに、向きが同じ方へずれていくからだ。

③ ところが、右と左を交互にくり返せば、ジグザグに進みながらも、全体としては、ほぼまっすぐ前へ進むことができる。石の下や落ち葉のかげのような、敵に見つかりにくい場所へ、早くたどり着けるのだ。

④ ダンゴムシは、地図を持っているわけではない。それでも、この曲がり方のおかげで、同じ所をぐるぐる回らずにすむ。ダンゴムシの体には、いわば、迷わないための決まりが組みこまれているのである。

問　――線部「迷わないための決まりが組みこまれている」とは、どういうことですか。四十字以内で説明しなさい。

下書き(ある生徒の答え)　21字／40字以内

体の中に、迷わないための決まりがあるから。

採点すると　**0点**／10点　――線部のくり返し(たとえのまま)で、中身の点が0点。「から。」は、どういうことかの答え方ではない。

① 下書きを採点し、見直し5項目で×をつけよう

見直し項目（①〜⑤）	下書きのどこが	どう直す（もどる単元）

② 直した答えを書こう

									10										20
									30										40

40字以内（1マスに1字。句読点も1字）

練習2　物語文(気持ち型)「荷台の手」

① 日曜日の朝、ユウトは、小学一年生の弟のコウに、自転車の乗り方を教えていた。補助輪を外してから、もう三週間がたつ。コウは何度ころんでも、「もう一回」と言って自転車を起こした。ひざには、ばんそうこうが三まいはってある。

② 「ハンドルを見ないで、前を見るんだ。」

③ ユウトは、荷台を後ろから支えながら、いっしょに走った。「こわくないよ。にいちゃんが持ってるから。」と、何度も声をかけた。去年、自分が父に教わったときと同じ言葉だった。

④ 坂の下まで来たとき、ユウトは、そっと荷台から手をはなした。コウは気づかずに、ペダルをこぎつづけた。自転車はふらつきながらも、まっすぐに進んでいく。

⑤ 「にいちゃん、見て！　乗れてる！」

⑥ ふり返ったコウの顔は、真っ赤だった。ユウトは「まあまあだな」と言ったが、思わず両手でガッツポーズをしていた。三週間、毎週日曜日に早起きして教えてきたかいがあった、と思った。

⑦ 空には、高い秋の雲がうかんでいた。どこかで、もずが高く鳴いた。

問　――線部「思わず両手でガッツポーズをしていた」とありますが、このときのユウトの気持ちを、六十字以内で説明しなさい。

下書き(ある生徒の答え)　22字／60字以内

すごくうれしいけど、ちょっとくやしい気持ち。

採点すると　**2点**／10点　「うれしい」は合う(理由が無いので5点中2点)。くやしいは根拠なし。話し言葉(すごく・けど・ちょっと)で形の1点も入らない。

① 下書きを採点し、見直し5項目で×をつけよう

見直し項目（①〜⑤）	下書きのどこが	どう直す（もどる単元）

② 直した答えを書こう

									10										20
									30										40
									50										60

60字以内（1マスに1字。句読点も1字）

解答と採点表

練習1　説明文(言いかえ型)「ダンゴムシの曲がり方」

解き方

1. **手順1　採点表を作る**
   「どういうことですか」＝言いかえ型(U09)。中心(同じ所を回らず、ほぼまっすぐ進める)5点・しくみ(向きを交互に変える)3点・たとえを使わない1点・文末「～ということ。」1点。
2. **手順2　下書きを採点**
   「迷わないための決まり」は――線部そのまま＝言いかえていない。中身0点、文末も「から。」で0点。
3. **手順3　5項目**
   ①どういうことかに「から。」で答えた ②21字で8割(32字)に足りない ④たとえ(決まり)のまま ⑤文末。③主語と述語は○。
4. **手順4　もどって直す**
   ④×→「決まり」の中身を①③段落から取る(右と左を交互に曲がる→ほぼまっすぐ進める)。⑤×→「～ということ。」

見直し5項目チェック表(下書き)

見直し項目	下書きのどこが	どう直す(もどる単元)	判定
①聞かれたことに答えた	「どういうことか」に理由で答えている	言いかえの形にする(U05・U09)	×
②条件(字数)	21字＝8割の32字に足りない	①③段落から中身を足す(U06)	×
③主語と述語	「決まりがある」は合っている	そのままでよい	○
④具体化	たとえ「迷わないための決まり」のまま	「交互に曲がる→まっすぐ進む」と言いかえる(U07)	×
⑤文末	「～から。」	「～ということ。」(U09)	×

模範解答

直した答え(模範解答)　40字／40字以内

曲がる向きを交互に変えるので、同じ所を回らず、ほぼまっすぐ前へ進めるということ。

採点表

採点表(要素ごとの配点)	点
中心:同じ所を回らず、ほぼまっすぐ前へ進める	5点
しくみ:曲がる向きを右と左で交互に変える	3点
たとえ(決まり・迷わない)を使わずに説明している	1点
文末が「〜ということ。」	1点
合計	**10点**

減点の型(こう書くと)	何点になる？ なぜ？
下書き「体の中に、迷わないための決まりがあるから。」	たとえのまま・文末ちがいで0点。
「右、左、右、左と曲がるということ。」	しくみだけで、何のためか(まっすぐ進める)が無い。4点。
「敵に見つかりにくい場所へにげるということ。」	目的の一部だけ。曲がり方との関係が無い。2点ほど。

練習2　物語文(気持ち型)「荷台の手」

解き方

1. **手順1　採点表を作る**
   気持ち型(U12)。気持ち二つ(コウが乗れてうれしい／教えたかいがあって満足)5点・きっかけ(何度ころんでもあきらめなかったコウが一人で乗れた)3点・話し言葉なし1点・文末1点。
2. **手順2　下書きを採点**
   うれしいは合うが、何がうれしいかが無い(2点)。「くやしい」は本文のどこにもない(根拠なし・0点)。合計2点。
3. **手順3　5項目**
   ①気持ちは答えているがきっかけが無い ②22字で8割(48字)に足りない ④何がうれしいか具体的でない。③⑤は〇。＋α 話し言葉「すごく」「けど」「ちょっと」。
4. **手順4　もどって直す**
   ②④×→要素表にもどり、①④⑤のきっかけと、⑥「教えてきたかいがあった」(自分への気持ち)を足す。「くやしい」は消す。話し言葉は書き言葉に。「まあまあだな」は口だけ(ガッツポーズ・かいがあった、が本当の気持ち)。

見直し5項目チェック表(下書き)

見直し項目	下書きのどこが	どう直す(もどる単元)	判定
①聞かれたことに答えた	気持ちはあるが、きっかけが無い	きっかけ＋気持ちにする(U12)	△
②条件(字数)	22字＝8割の48字に足りない	要素表にもどる(U06)	×
③主語と述語	主語なしの「～気持ち。」で、ねじれは無い	そのままでよい	○
④具体化	何がうれしいのかが無い／くやしいは根拠なし	「コウが乗れて」を足し、くやしいを消す(U07・U12)	×
⑤文末	「～気持ち。」	そのままでよい	○
＋α 話し言葉	すごく・けど・ちょっと	書き言葉にする	×

模範解答

直した答え(模範解答) 59字／60字以内

何度ころんでもあきらめなかったコウが一人で自転車に乗れたことがうれしく、三週間教えてきたかいがあったと満足する気持ち。

採点表

採点表(要素ごとの配点)	点
気持ち二つ:コウが乗れてうれしい(相手へ)＋教えたかいがあって満足(自分へ)	5点
きっかけ:何度ころんでもあきらめなかったコウが、一人で乗れた	3点
話し言葉を使っていない	1点
文末が「～気持ち。」	1点
合計	**10点**

減点の型(こう書くと)	何点になる？ なぜ？
下書き「すごくうれしいけど、ちょっとくやしい気持ち。」	理由なし・根拠なし・話し言葉で2点。
「まあまあだと思う気持ち。」	台詞をそのまま気持ちにした。ガッツポーズと合わない。0点。
「秋の空のようにさわやかな気持ち。」	情景とたとえだけ。0点。

マナビエ
MANABIE

記述の設計図　U13 見直し（ベーシック）

© MANABIE　無断転載・複製・改変・再配布を禁じます